

登録速報（登録内容変更）

農薬名：ジベレリン明治
登録番号：第6004号
登録日：2013年4月10日

農薬名：ジベレリン明治液剤
登録番号：第6005号
登録日：2013年4月10日

登録変更内容

農薬登録申請書第7項中、次の事項を変更し、【変更前】を【変更後】の通りとする。

- ①作物名「きゅうり（抑制栽培）」の使用目的「果実肥大」を削除する。
- ②作物名「畑わさび」の使用時期「花芽分化後の10月下旬（第1回目）及び第1回目処理後約10日後の11月上旬（第2回目）、但し、収穫45日前まで」を「花芽分化後の10月下旬（第1回目）及び第1回目処理後約10日後の11月上旬（第2回目）、但し、収穫60日前まで」に変更する。
- ③「適用病害虫の範囲及び使用方法」に「使用液量」の項を追加する。「使用方法」に書かれている使用液量に関する記載を、「使用液量」の項に転記する。

＜変更後の適用表＞ ジベレリン明治

作物名	使用目的	使用濃度	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ジベレリンを含む農薬の総使用回数
ぶどう (ピノット・ブドウを除く2倍体 米国系品種) [無核栽培]	無種子化 果粒肥大促進	第1回目 ジベレリン 100ppm 第2回目 ジベレリン 75~100ppm	果房散布の 場合は 30~100 L/10a	満開予定日 約14日前 (第1回目)及び 満開約10日後 (第2回目)	2回、 但し降雨等に より再処理を 行う場合は 合計4回以内	第1回目：花房浸漬 第2回目：果房浸漬 又は果房散布	2回、但し 降雨等により 再処理を行う 場合は 合計4回以内
ぶどう (ピノット・ブドウ)	果粒肥大促進	ジベレリン 100ppm	—	着粒後	1回、 但し降雨等に より再処理を 行う場合は 合計2回以内	果房浸漬	1回、但し 降雨等により 再処理を行う 場合は 合計2回以内
ぶどう (デラウェア) [無核栽培]	無種子化 果粒肥大促進	第1回目 ジベレリン 100ppm 第2回目 ジベレリン 75~100ppm	果房散布の 場合は 30~100 L/10a	満開予定日 約14日前 (第1回目)及び 満開約10日後 (第2回目)	2回、 但し降雨等に より再処理を 行う場合は 合計4回以内	第1回目：花房浸漬 第2回目：果房浸漬 又は果房散布	2回、但し 降雨等により 再処理を行う 場合は 合計4回以内
				満開予定日 18~14日前 (第1回目)及び 満開約10日後 (第2回目)		第1回目：花房浸漬 (ホウチン) 1~5ppm液に 加用 第2回目：果房浸漬 又は果房散布	
ぶどう (キャンパルアー を除く2倍体 米国系品種) [有核栽培]	果粒肥大促進	ジベレリン50ppm	—	満開 10~15日後	1回、 但し降雨等に より再処理を 行う場合は 合計2回以内	果房浸漬	1回、但し 降雨等により 再処理を行う 場合は 合計2回以内
ぶどう (キャンパルアー) [有核栽培]	果房伸長促進	ジベレリン 3~5ppm	30~100 L/10a	満開予定日 約20~30日前 (展葉3~5枚時)	1回	花房散布	2回以内、但し 降雨等により 再処理を行う 場合は 合計3回以内
ぶどう (2倍体 欧州系品種) [無核栽培]	無種子化 果粒肥大促進	第1回目 ジベレリン25ppm 第2回目 ジベレリン25ppm	—	満開時~満開3日後 (第1回目)及び 満開10~15日後 (第2回目)	2回、 但し降雨等に より再処理を 行う場合は 合計4回以内	第1回目：花房浸漬 第2回目：果房浸漬	2回以内、 但し降雨等に より再処理を 行う場合は 合計4回以内
		ジベレリン25ppm		満開3~5日後 (落花期)		花房浸漬(ホウチン) 10ppm液に 加用	
ぶどう (ピノット・ブドウを除く 2倍体 欧州系品種) [有核栽培]	果粒肥大促進	ジベレリン25ppm	—	満開 10~20日後	1回、 但し降雨等に より再処理を 行う場合は 合計2回以内	果房浸漬	1回、但し 降雨等により 再処理を行う 場合は 合計2回以内
ぶどう (ピノット・ブドウ) [有核栽培]	—	ジベレリン 50~100ppm	果房散布の 場合は 70~80 L/10a	満開 10~15日後	—	果房浸漬又は果房散布	—
ぶどう (キグテス、 ピノット・ブドウを除く 3倍体品種)	着粒安定 果粒肥大促進	第1回目 ジベレリン 25~50ppm 第2回目 ジベレリン 25~50ppm	—	満開時~ 満開3日後 (第1回目)及び 満開10~15日後 (第2回目)	2回、 但し降雨等に より再処理を 行う 場合は 合計4回以内	第1回目：花房浸漬 第2回目：果房浸漬	2回、但し 降雨等により 再処理を行う 場合は 合計4回以内

作物名	使用目的	使用濃度	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ジバ_LLを含む農薬の総使用回数	
ぶどう (ケグデラ)	着粒安定 果粒肥大促進	第1回目 ジバ_LL 50ppm 第2回目 ジバ_LL 50~100ppm	果房散布の 場合は 50~100 L/10a	満開時~ 満開3日後 (第1回目)及び 満開10~15日後 (第2回目)	2回	第1回目:花房浸漬 第2回目:果房浸漬 又は果房散布	2回	
ぶどう (ニシードラ)		ジバ_LL 100ppm						-
ぶどう (ニールズを除く 巨峰系 4倍体品種 [無核栽培])	無種子化 果粒肥大促進	第1回目 ジバ_LL 12.5~25ppm 第2回目 ジバ_LL 25ppm	-	満開時~ 満開3日後 (第1回目)及び 満開10~15日後 (第2回目)	2回、 但し降雨等に より再処理を 行う場合は 合計4回以内	第1回目:花房浸漬 第2回目:果房浸漬	3回以内、 但し降雨等に より再処理を 行う場合は 合計5回以内	
		ジバ_LL 25ppm		満開3~5日後 (落花期)				1回、 但し降雨等に より再処理を 行う場合は 合計2回以内
	無種子化	ジバ_LL 12.5~25ppm		満開時~ 満開3日後	合計2回以内	花房浸漬 (満開10~15日後に ホカカエニョウによる 果粒肥大促進処理を 行うこと)		
	果房伸長促進	ジバ_LL 3~5ppm		30~100 L/10a		展葉3~5枚時		1回
ぶどう (ニールズ) [無核栽培]	無種子化 果粒肥大促進	第1回目 ジバ_LL 12.5~25ppm 第2回目 ジバ_LL 25ppm	-	満開時~ 満開3日後 (第1回目)及び 満開10~15日後 (第2回目)	2回、 但し降雨等に より再処理を 行う場合は 合計4回以内	第1回目:花房浸漬 第2回目:果房浸漬	3回以内、 但し降雨等に より再処理を 行う場合は 合計5回以内	
		ジバ_LL 25ppm		満開3~5日後 (落花期)				1回、 但し降雨等に より再処理を 行う場合は 合計2回以内
	無種子化	ジバ_LL 12.5~25ppm		満開時~ 満開3日後	合計2回以内	花房浸漬 (満開10~15日後に ホカカエニョウによる 果粒肥大促進処理を 行うこと)		
	果房伸長促進	ジバ_LL 3~5ppm		30~100 L/10a		展葉3~5枚時		1回
	着粒密度低減 果粒肥大促進	第1回目 ジバ_LL 25ppm 第2回目 ジバ_LL 25ppm		-	満開予定日14~20 日前(第1回目)及び 満開10~15日後 (第2回目)	2回、 但し降雨等に より再処理を 行う場合は 合計4回以内		第1回目:花房浸漬 (ホカカエニョウ 3ppm 液に加用) 第2回目:果房浸漬
ぶどう(巨峰、 ルビーロマン、 ハニービーナス) [有核栽培]	果粒肥大促進	ジバ_LL 25ppm	-	満開10~20日後	1回、 但し降雨等に より再処理を 行う場合は 合計2回以内	果房浸漬	1回、 但し降雨等に より再処理を 行う場合は 合計2回以内	
ぶどう (高尾)		ジバ_LL		満開時~ 満開7日後		花房又は果房浸漬		
ぶどう (ふくしずく)		ジバ_LL 50~100ppm						

作物名	使用目的	使用濃度	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ジバリリを含む農薬の総使用回数
ぶどう (あづましずく)	果粒肥大促進	第1回目 ジバリリ 25~50ppm 第2回目 ジバリリ 50ppm	—	満開時 (第1回目) 満開4~13日後 (第2回目)	2回以内、 但し降雨等に より再処理を 行う場合は 合計4回以内	果房浸漬	2回以内、 但し降雨等に より再処理を 行う場合は 合計4回以内
かんきつ(不知火、ほ んかん、かます、は るみ、ツツジネーブル、 日向夏、すだち、平 兵衛酢、長門アヲ 枺 (無核)、温州みかん、 きんかんを除く)	花芽抑制による 樹勢の維持	ジバリリ 25~50ppm	50~250 L/10a	収穫直後~ 収穫約1ヶ月後	1回	立木全面散布 又は枝別散布	1回
	落果防止		50~100 L/10a	開花始め~ 満開10日後		散布	
不知火 はるみ	花芽抑制による 樹勢の維持	ジバリリ 0.5~1ppm	50~250 L/10a	収穫直後~ 収穫約1ヶ月後		立木全面散布 又は枝別散布	3回以内
	落果防止		50~100 L/10a	開花始め~ 満開10日後		散布	
	水腐れ軽減	50~500 L/10a	着色終期 但し、 収穫7日前まで	果実散布			
ほんかん	花芽抑制による 樹勢の維持	ジバリリ 25~50ppm	50~250 L/10a	収穫直後~ 収穫約1ヶ月後		立木全面散布 又は枝別散布	1回
	落果防止		50~100 L/10a	開花始め~ 満開10日後		散布	
	水腐れ軽減	ジバリリ 0.5ppm	50~500 L/10a	着色始期~ 4分着色期 但し、 収穫21日前まで		果実散布	
長門アヲ 枺 (無核)	花芽抑制による 樹勢の維持	ジバリリ 25~50ppm	50~250 L/10a	収穫直後~ 収穫約1ヶ月後	立木全面散布 又は枝別散布	1回	
	落果防止		50~100 L/10a	開花始め~ 満開10日後	散布		
	着果安定	ジバリリ 50ppm	開花期~ 開花終期	花又は 果実散布			
	果皮の緑色維持	ジバリリ 10~25ppm	50~400 L/10a	収穫予定 14~30日前	果実散布		
すだち 平兵衛酢 かます	花芽抑制による 樹勢の維持	ジバリリ 25~50ppm	50~250 L/10a	収穫直後~ 収穫約1ヶ月後	立木全面散布 又は枝別散布	1回	
	落果防止		50~100 L/10a	開花始め~ 満開10日後	散布		
	果皮の緑色維持	ジバリリ 10~25ppm	50~400 L/10a	収穫予定 14~30日前	果実散布		
ツツジネーブル	花芽抑制による樹勢 の維持	ジバリリ 25~50ppm	50~250 L/10a	収穫直後~ 収穫約1ヶ月後	立木全面散布 又は枝別散布	1回	
	落果防止	ジバリリ 500ppm	30~40 L/10a	満開10~20日後 の幼果期	幼果に散布		
日向夏	花芽抑制による樹勢 の維持	ジバリリ 25~50ppm	50~250 L/10a	収穫直後~ 収穫約1ヶ月後	立木全面散布 又は枝別散布	1回	
	無種子化 落果防止	ジバリリ 300~ 500ppm	30~40 L/10a	満開 7~10日後	果実散布		

作物名	使用目的	使用濃度	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ジバリリを含む農薬の総使用回数
温州みかん	花芽抑制による樹勢の維持	ジバリリ 25~50ppm	50~250 L/10a	収穫直後~ 収穫約1ヶ月後	1回	立木全面散布 又は枝別散布	3回以内
		ジバリリ 10ppm				立木全面散布 又は枝別散布 0.1%ジバリリ1000~ 2000倍液に加入	
	落果防止	ジバリリ 25~50ppm	50~100 L/10a	開花始め~ 満開10日後		散布 0.1%ジバリリ1000~ 2000倍液に加入	
		ジバリリ 25~50ppm	散布				
浮皮軽減	ジバリリ 3.3~5ppm	100~400 L/10a	収穫予定日の 3ヶ月前 但し、 収穫45日前まで	果実散布 0.1%ジバリリ1000~ 2000倍液に加入			
きんかん	花芽抑制による樹勢の維持	ジバリリ 25~50ppm	50~250 L/10a	収穫直後~ 収穫約1ヶ月後	1回	立木全面散布 又は枝別散布	1回
	落果防止	ジバリリ 25~50ppm		開花始め~ 満開10日後		散布	
	着果安定	ジバリリ 300ppm	30~60 L/10a	一番花開花期		花に散布	
びわ (3倍体)	着果安定 果実肥大促進	第1回目 ジバリリ 200ppm 第2回目 ジバリリ 200ppm	-	満開予定日 約7日前~満開時 (第1回目)及び 第1回目処理後 35~60日 (第2回目)	2回	ホウライニリン 20ppm 液に加入 第1回目:花房浸漬 第2回目:果房浸漬	2回
かき	落果防止	ジバリリ 50~200ppm	30~100 L/10a	満開10日後	1回	幼果及び へだに散布	1回
野菜類	発芽促進	ジバリリ 50~200ppm	-	は種前		種子浸漬	
みつば (軟化栽培 を除く)	生育促進	ジバリリ 10ppm	50~100 L/10a	本葉2~3枚時 (第1回目)と その2週間後 (第2回目) 但し、 収穫14日前まで	2回	葉面散布	3回以内 (種子への処理は 1回以内、 は種後は 2回以内)
みつば (軟化栽培)		ジバリリ 20~50ppm		根株伏込時	1回	根株上面に散布	2回以内 (種子への処理 は1回以内、 根株伏込時は 1回以内)
トマト	空とう果防止	ジバリリ 10ppm	1花房当り 5mL	開花時	1花房当り 1回	花房散布 (トマト落果防止剤 と併用)	種子への 処理は1回、 1花房当り1回
なす	着果数増加	ジバリリ 10~50ppm	100~150 L/10a		1回	葉面散布	2回以内 (種子への処理は 1回以内、 は種後は 1回以内)
さやいんげん (矮性(促成又は 半促成栽培))	節間伸長促進	ジバリリ 5ppm	1株当り 2mL	本葉 0.5~1.5枚 展開時	2回以内	茎頂部散布	3回以内 (種子への処理 は1回以内、 は種後は 2回以内)
しそ (花穂)	穂の伸長促進		50L/10a	出穂期 但し、 収穫7日前まで	1回	茎葉散布	2回以内 (種子への処理は 1回以内、 は種後は 1回以内)
くり	生育促進 肥大促進	ジバリリ 50~100ppm	20~100 L/10a	収穫予定 15~20日前		1回	葉面散布

作物名	使用目的	使用濃度	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ジバリリを含む農薬の総使用回数
いちご (促成栽培)	着果数増加 熟期促進	ジバリリ 10ppm	1株当り 5mL	休眠に入る直前 (冬場の低温期)	1株当り 6回以内	茎葉全面散布	1株当り 10回以内
いちご	果柄の伸長促進			頂花の出蕾直後～ 開花直前	1花房 当り1回	株の中心部に散布	
いちご (親株床)	うが-発生促進	ジバリリ 50ppm	1株当り 10mL	採苗時 うが-発生直前～ 発生初期	1株当り 1回	茎葉散布	1株当り1回
うど (春うど)	休眠打破に よる生育促進	ジバリリ 50ppm	1株当り 20～25mL	伏込時	1回	根株散布	1回
		ジバリリ 50～100ppm	—			根株浸漬	
ふき	生育促進	ジバリリ 25ppm	50～300 L/10a	葉数3～4枚時 (草丈10～30cm頃)	1回	全面散布	
畑わさび	花茎の抽出 時期促進及び 発生量増加	第1回目 ジバリリ 100ppm 第2回目 ジバリリ 100ppm	1株当り 2mL	花芽分化後の10月 下旬(第1回目)及び 第1回目処理後約1 0日後の 11月上旬(第2回 目)但し、収穫60日 前まで	2回	株の中心部に散布	3回以内 (種子への処理 は1回以内、 は種後は 2回以内)
たらのき (促成栽培)	萌芽促進	ジバリリ 50ppm	100～200 mL/m ²	伏込時	1回	駒木散布	1回
アセロラ	着粒安定	ジバリリ 25ppm	100～400 L/10a	開花期	1花当り 1回	花に散布	1花そう当り 3回以内
メロン	着果促進	ジバリリ 200ppm	1花当り 2～5mL	開花前日～翌日		散布(4-CPA 剤 50倍液に加用)	種子への処理は 1回、 1花当り1回
種いも用 ばれいしょ	全粒種いもの 増収	ジバリリ 5～10ppm	—	植付前	1回	30秒間種いも浸漬	1回
ツクシ	開花促進	ジバリリ 1～5ppm	1株当り 2～5mL	9月中・下旬	1回	花蕾を含む芽の 中心部に散布	1回
アリル (マコデス)		ジバリリ 10～20ppm		11月上旬頃の 花蕾出現直後		株の中心部に 散布	
みやこわすれ	開花促進 草丈伸長促進	ジバリリ 50～100ppm	1株当り 10～15mL	1月中旬の 保温開始時から 7～10日間隔	3回	葉面散布	3回以内
きく		ジバリリ 25～100ppm	50～100 L/10a	生育期	2回以内	茎葉散布	2回以内
しらん		ジバリリ 50ppm	—	植付時	1回	30分間株浸漬	1回
りんどう	発芽促進	ジバリリ 50～200ppm	—	は種前		種子浸漬	2回以内 (種子への処理は 1回以内、 は種後は 1回以内)
	生育促進	ジバリリ 100ppm	50～150 L/10a	定植直前または 定植1～5週間後	茎葉散布		
チューリップ (促成栽培)	開花促進	ジバリリ 400ppm	1球当り 1mL	草丈7～20cmの時 に 7日間隔	2回以内	筒状の葉の中心部に 滴下	2回以内
さつき (施設栽培苗)	茎の伸長促進 花芽分化の抑制	ジバリリ 100～200ppm	50～100 L/10a	茎の伸長初期 ～伸長終期 (開花盛期以降) 1～2週間間隔	3回	頂芽に十分散布	3回以内
さくら (切り枝促成栽培)	休眠打破に よる生育促進	ジバリリ 25～50ppm	50～200 L/10a	休眠期	1回	切り枝全面散布	1回
			—	植付時		切り枝浸漬	
か-	生育促進	ジバリリ 50ppm	50～150 L/10a	花茎伸長期	1回	球根浸漬	2回以内
			—			茎葉散布	
ガフィラム	開花促進	ジバリリ 250～500ppm	30～40 L/10a	出荷予定期の 2～3ヶ月前	1回	茎葉散布	1回

作物名	使用目的	使用濃度	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ジベリルを含む農薬の総使用回数
トルギキョウ	生育促進	ジベリル 50~100ppm	30~40 L/10a	生育期間中に 吐芽化した時	1回	茎葉散布	1回
アザミ	開花促進	ジベリル 250~500ppm		開花予定日 約1ヶ月前			
アイリス	生育促進	ジベリル 50~100ppm	—	植付時		球根浸漬	
花き類 (りんどうを除く)	発芽促進	ジベリル 50~200ppm		は種前		種子浸漬	

＜変更後の適用表＞ シベレリン明治液剤

作物名	使用目的	使用濃度	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ジベレリンを含む農薬の総使用回数
かんきつ(不知火、ぼんかん、かぼす、はるみ、ワットネブル、日向夏、すだち、平兵衛群、長門ミズ柑(無核)、温州みかん、きんかんを除く)	花芽抑制による樹勢の維持	ジベレリン 25~50ppm	50~250 L/10a	収穫直後~ 収穫約1ヶ月後	1回	立木全面散布 又は枝別散布	1回
	落果防止		50~100 L/10a	開花始め~ 満開10日後		散布	
不知火 はるみ	花芽抑制による樹勢の維持	ジベレリン 25~50ppm	50~250 L/10a	収穫直後~ 収穫約1ヶ月後		立木全面散布 又は枝別散布	3回以内
	落果防止		50~100 L/10a	開花始め~ 満開10日後		散布	
	水腐れ軽減	ジベレリン 0.5~1ppm	50~500 L/10a	着色終期 但し、 収穫7日前まで		果実散布	
ぼんかん	花芽抑制による樹勢の維持	ジベレリン 25~50ppm	50~250 L/10a	収穫直後~ 収穫約1ヶ月後		立木全面散布 又は枝別散布	1回
	落果防止		50~100 L/10a	開花始め~ 満開10日後		散布	
	水腐れ軽減	ジベレリン 0.5ppm	50~500 L/10a	着色始期~4分着色期 但し、収穫21日前まで		果実散布	
長門ミズ柑 (無核)	花芽抑制による樹勢の維持	ジベレリン 25~50ppm	50~250 L/10a	収穫直後~ 収穫約1ヶ月後		立木全面散布 又は枝別散布	1回
	落果防止		50~100 L/10a	開花始め~ 満開10日後		散布	
	着果安定	ジベレリン 50ppm	50~400 L/10a	開花期~ 開花終期	花又は 果実散布		
	果皮の緑色維持	ジベレリン 10~25ppm	50~400 L/10a	収穫予定 14~30日前	果実散布		
すだち 平兵衛群 かぼす	花芽抑制による樹勢の維持	ジベレリン 25~50ppm	50~250 L/10a	収穫直後~ 収穫約1ヶ月後	立木全面散布 又は枝別散布	1回	
	落果防止		50~100 L/10a	開花始め~ 満開10日後	散布		
	果皮の緑色維持	ジベレリン 10~25ppm	50~400 L/10a	収穫予定 14~30日前	果実散布		
ワットネブル	花芽抑制による樹勢の維持	ジベレリン 25~50ppm	50~250 L/10a	収穫直後~ 収穫約1ヶ月後	立木全面散布 又は枝別散布	1回	
	落果防止	ジベレリン 500ppm	30~40 L/10a	満開10~20日後の 幼果期	幼果に散布		
日向夏	花芽抑制による樹勢の維持	ジベレリン 25~50ppm	50~250 L/10a	収穫直後~ 収穫約1ヶ月後	立木全面散布 又は枝別散布	1回	
	無種子化 落果防止	ジベレリン 300~ 500ppm	30~40 L/10a	満開 7~10日後	果実散布		
温州みかん	花芽抑制による樹勢の維持	ジベレリン 25~50ppm	50~250 L/10a	収穫直後~ 収穫約1ヶ月後	立木全面散布 又は枝別散布	3回以内	
		ジベレリン 10ppm			立木全面散布 (ブレイドマイスター) 1000~2000倍液に加用		
	落果防止	ジベレリン 25~50ppm	50~100 L/10a	開花始め~ 満開10日後	散布 (ブレイドマイスター) 1000~2000倍液に加用		
		浮皮軽減	ジベレリン 3.3~5ppm	100~ 400 L/10a	収穫予定日の 3ヶ月前 但し、 収穫45日前まで		果実散布 (ブレイドマイスター) 1000~2000倍液に加用

作物名	使用目的	使用濃度	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ジバリンを含む農薬の総使用回数
きんかん	花芽抑制による樹勢の維持	ジバリン 25~50ppm	50~250 L/10a	収穫直後~ 収穫約1ヶ月後	1回	立木全面散布 又は枝別散布	1回
	落果防止			開花始め~ 満開10日後		散布	
	着果安定	ジバリン 300ppm	30~60 L/10a	一番花開花期		花に散布	
かき	落果防止	ジバリン 50~200ppm	30~100 L/10a	満開10日後		幼果及び へたに散布	
野菜類	発芽促進		—	は種前		種子浸漬	
みつば (軟化栽培 を除く)	生育促進	ジバリン 10ppm	50~100 L/10a	本葉2~3枚時 (第1回目)と その2週間後 (第2回目)但し、 収穫14日前まで	2回	葉面散布	3回以内 (種子への処理は 1回以内、 は種後は 2回以内)
みつば (軟化栽培)		ジバリン 20~50ppm			根株伏込時	1回	根株上面に散布
ふき		ジバリン 25ppm	50~300 L/10a	葉数3~4枚時 (草丈10~30cm頃)		全面散布	1回
畑わさび	花茎の抽出 時期促進及び 発生量増加	第1回目 ジバリン 100ppm 第2回目 ジバリン 100ppm	1株当り 2mL	花芽分化後の10月下旬 (第1回目)及び 第1回目処理後 約10日後の11月 上旬(第2回目) 但し、収穫60日前まで	2回	株の中心部に散布	3回以内 (種子への処理は 1回以内、 は種後は 2回以内)
たらぎ (促成栽培)	萌芽促進	ジバリン 50ppm	100~ 200 mL/m ²	伏込時	1回	駒木散布	1回
うど (春うど)	休眠打破による 生育促進	ジバリン 50ppm	1株当り 20~25m L			根株散布	
		ジバリン 50~100ppm	—			根株浸漬	
トマト	空とう果防止	ジバリン 10ppm	1花房当り 5mL	開花時	1花房当り 1回	花房散布 (トマト落果防止剤 と併用)	種子への処理は 1回、 1花房当り1回
なす	着果数増加	ジバリン 10~50ppm	100~ 150 L/10a		1回	葉面散布	2回以内 (種子への処理 は1回以内、 は種後は 1回以内)
さやいんげん (矮性(促成又は 半促成栽培))	節間伸長促進	ジバリン 5ppm	1株当り 2mL	本葉0.5~1.5枚 展開時	2回以内	茎頂部散布	3回以内 (種子への処理 は1回以内、 は種後は 2回以内)
しそ (花穂)	穂の伸長促進		50L/10a	出穂期 但し、収穫7日前まで	1回	茎葉散布	2回以内 (種子への処理 は1回以内、 は種後は 1回以内)
芜菁	生育促進 肥大促進	ジバリン 50~100ppm	20~100 L/10a	収穫予定 15~20日前		葉面散布	1株当り 10回以内
いちご (促成栽培)	着果数増加 熟期促進	ジバリン 10ppm	1株当り 5mL	休眠に入る直前 (冬場の低温期)	1株当り 6回以内	茎葉全面散布	1株当り
いちご	果柄の伸長促進			頂花の出蕾直後 ~開花直前	1花房 当り1回	株の中心部に散布	10回以内
いちご (親株床)	ツナギ発生促進	ジバリン 50ppm	1株当り 10mL	採苗時 ツナギ発生 直前~発生初期	1株当り 1回	茎葉散布	1株当り1回
種いも用 はねいしょ	全粒種いもの増収	ジバリン 5~10ppm	—	植付前	1回	30秒間種いも浸漬	1回

作物名	使用目的	使用濃度	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ジバ_LLを 含む農薬の 総使用回数
ごぼう(促成栽培)	休眠打破による 生育促進	ジバ_LL 10~15ppm	50~100 L/10a	休眠に入る直前 (残葉2枚程度の頃) 及びその約1ヵ月後 但し、収穫30日前まで	2回以内	茎葉散布	3回以内 (種子への処理は 1回以内、 は種後は 2回以内)
アセロラ	着粒安定	ジバ_LL 25ppm	100~ 400 L/10a	開花期	1花当り 1回	花に散布	1花そう当り 3回以内
メロン	着果促進	ジバ_LL 200ppm	1花当り 2~5mL	開花前日~翌日		散布(4-CPA 剤 50倍液に加用)	種子への処理は1 回、 1花当り1回
ツラギ	開花促進	ジバ_LL 1~5ppm	1株当り	9月中・下旬	1回	花蕾を含む芽の 中心部に散布	1回
ブドウ (マスカット)		ジバ_LL 10~20ppm	2~5mL	11月上旬頃の 花蕾出現直後		株の中心部に 散布	
みやこわすれ	開花促進 草丈伸長促進	ジバ_LL 50~100ppm	1株当り 10~15m L	1月中旬の 保温開始時から 7~10日間隔	3回	葉面散布	3回以内
きく		ジバ_LL 25~100ppm	50~100 L/10a	生育期	2回以内	茎葉散布	2回以内
しらん		ジバ_LL 50ppm	-	植付時	1回	30分間株浸漬	1回
チューリップ (促成栽培)	開花促進	ジバ_LL 400ppm	1球当り 1mL	草丈7~20cmの時に 7日間隔	2回以内	筒状の葉の 中心部に滴下	2回以内
	花丈伸長及び 茎の肥大促進	ジバ_LL 100ppm		草丈7~10cm時		ホウライエニシ 0.05~0.1ppm液に 加用、葉筒内滴下	
りんどう	発芽促進	ジバ_LL 50~200ppm	-	は種前	1回	種子浸漬	2回以内 (種子への処理は1 回以内、 は種後は 1回以内)
	生育促進	ジバ_LL 100ppm	50~150 L/10a	定植直前または 定植1~5週間後		茎葉散布	
さつき (施設栽培苗)	茎の伸長促進 花芽分化の抑制	ジバ_LL 100~ 200ppm	50~100 L/10a	茎の伸長初期 ~伸長終期 (開花盛期以降) 1~2週間間隔	3回	頂芽に十分散布	3回以内
さくら (切り枝促成栽培)	休眠打破に よる生育促進	ジバ_LL 25~50ppm	50~200 L/10a	休眠期	1回	切り枝全面散布	1回
			-	植付時		切り枝浸漬	
カー	生育促進	ジバ_LL 50ppm	50~150 L/10a	花茎伸長期	1回	球根浸漬	2回以内
ガタイアム	開花促進	ジバ_LL 250~ 500ppm	30~40 L/10a	出荷予定期の 2~3ヶ月前		茎葉散布	
トルギキョウ	生育促進	ジバ_LL 50~100ppm		生育期間中に 刈りつけた時			
アザレア	開花促進	ジバ_LL 250~ 500ppm		開花予定日 約1ヶ月前			
アリシ	生育促進	ジバ_LL 50~100ppm	-	植付時		球根浸漬	1回
花き類 (りんどうを除く)	発芽促進	ジバ_LL 50~200ppm	-	は種前	種子浸漬		